

教 育 長 事 務 報 告

月 日	行 事 名	場 所
4月25日(火)	教育委員会定例会	市役所本庁舎
	岩手県学校教育ICT推進協議会、 県教育委員会と市町村教育委員会との意見交換	サンセール盛岡
4月26日(水)	北上市コミュニティ・スクール推進検討委員会	市役所本庁舎
	市長退任式	市役所本庁舎
4月27日(木)	市長就任式	市役所本庁舎
	岩手県教育委員会高校改革課 訪問	市役所本庁舎
4月29日(土)	北上市消防演習	展勝地
4月30日(日)	北上西和賀地区戦没者追悼式	さくらホール
5月2日(火)	サトウハチロー記念「おかあさんの詩」全国コンクール 主催者会議及び実行委員会	生涯学習センター
	北上市小中学校副校長会 訪問	市役所本庁舎
	北上市PTA連合会功労者表彰式	ホテルシティプラザ北上
5月8日(月)	市新型コロナウイルス感染症対策本部会議	市役所本庁舎
	幼保小等連絡会議	江釣子地区交流センター
5月10日(水)	市議会 第285回5月臨時会議	市役所本庁舎
	新市長就任歓迎会	幸楼
5月16日(火)	校長代表者会議	市役所本庁舎
5月18日(木) ～5月19日(金)	第73回全国都市教育長協議会 定期総会及び研究大会	帯広市
5月22日(月)	市交通安全対策協議会 総会	生涯学習センター
5月23日(火)	市奨学生選考委員会	市役所本庁舎
5月24日(水)	教育委員会定例会	市役所本庁舎
	市地域安全推進市民会議 総会	生涯学習センター
	第50回東北総合体育大会 北上市実行委員会設立総会	市役所本庁舎

5月 教育長事務報告

今定例会では、

- 1 4月25日(火) 県学校教育 ICT 推進協議会(令和5年度第1回)
- 2 4月25日(火) 県教育委員会と市町村教育委員会との意見交換(令和5年度第1回)
- 3 5月16日(火) 第1回北上市校長代表者会議

以上3件について報告いたします。

なお、5月18日(木)～19日(金)に帯広市で開催されました「全国都市教育長協議会定期総会並びに研究大会」につきましては、次回の定例会でご報告いたします。

【県学校教育 ICT 推進協議会】

- 1 日時 令和5年4月25日(火) 13:30～15:00
- 2 場所 サンセール盛岡 1階「大ホール」
- 3 内容

◇議題

- (1) ワーキンググループについて
- (2) 統合型校務支援システムについて
- (3) 「学びの改革プロジェクト」の令和5年度の取組について
- (4) 岩手県学校教育情報化推進計画(仮称)について

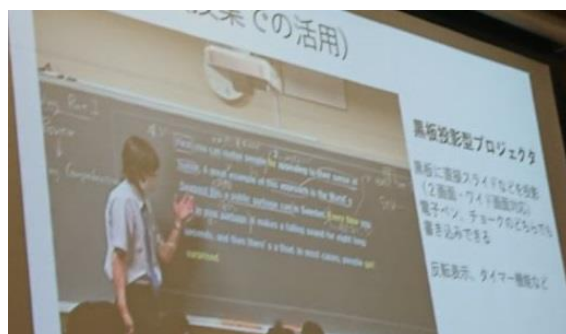
◇事例報告 「県内のICT活用事例報告」

◇その他 「県立高校のBYOD導入について」

4 所感

議題(1)については、「学校教育 ICT 活用検討WG」が年6回、「統合型校務支援システム検討WG」は年11回開催されました。「ICT活用検討WG」では、1人1台端末の利活用の促進やICTの効果的活用に関する当面課題への対応などの「学びの改革プロジェクト」の内容について、「校務支援システム検討WG」では、校務支援システム導入に係る担当者説明会の開催やプロポーザルに向けた準備について、それぞれ話し合われました。議題(2)については、業者決定のプロポーザルの審査のポイントや令和6年4月導入にむけた具体的な日程などが示されました。当市においては、6月の業者決定後7月には契約を結び、導入に向けた準備や研修を行う予定となっております。議題(3)の「学びの改革プロジェクト」**資料3**については、これまでの取組のほか新たに「STEAM(Science 科学、Technology 技術、Engineering 工学、Arts 芸術、Mathematics 数学)の視点による探究的な学びの深化」や「校務支援システム導入に向けた予算の増額」などが提起されました。議題(4)の「岩手県学校教育情報化推進計画(仮称)」については、国の「学校教育情報化推進計画」を基本とし、「岩手県DX推進計画」や次期「岩手県教育振興基本計画」の内容と整合性を図りながら、今年度策定を進めていくとしています。

質疑では、校務支援システムのプロポーザルの審査のポイントとして、「どの程度通知表などのカスタマイズが可能なのか」「カスタマイズは無償か」「セキュリティ対策は十分か」



「ランニングコストはどのくらいか」など様々出されましたが、それらの質問も参考にしながらプロポーザルを行うとのことでした。

事例報告では、学校DX支援リーダーの菅原一志氏より、県内のICT活用事例について紹介があり、黒板投影型プロジェクタを活用した事例(写真参照)では、黒板に英文を投影しチョークで直接書き込んでいる授業が紹介されました。

県立学校のBYOD(Bring Your Own Device：私用PCの持ち込み)制度導入については、令和6年度の1年生から本格的なBYODを開始し、令和8年度には全生徒がBYODの端末を利用する予定としており、低所得世帯の生徒には県が整備した端末を活用するとしています。

【県教育委員会と市町村教育委員会との意見交換】

- 1 日時 令和5年4月25日(火) 15:15～17:15
- 2 場所 サンセール盛岡 1階「大ホール」
- 3 令和5年度における県教育委員会の施策の方向性等について

令和5年度における「県教育委員会の施策の方向性」について、各担当から、①学力向上関連の主な施策、②義務教育施策の重点、③特別支援教育の推進、④令和6年度の学級編制、高校魅力化並びに次期再編計画策定に向けた取組、⑤校長及び教員としての資質の向上に関する指標の一部改正、⑥男性職員の育児休業等の取得促進に向けた取組の一層の推進、⑦県教職員働き方改革プラン(2021～2023)の推進、⑧学校等と県立図書館との連携、⑨学校と県立博物館との連携、⑩学校と県立美術館との連携、⑪研修履歴を活用した対話に基づく受講奨励、⑫就学前教育の推進、⑬障がい者活躍推進計画の策定、⑭公立中学校における学校部活動の方向性、⑮令和7年度以降の県立高校入試、⑯教職員の綱紀の保持、⑰小中学校における学校司書、⑱コミュニティ・スクール導入、設置に関する推進状況、⑲女性活躍推進のための特定事業主行動計画の一部改正、⑳小中学校事務長の配置、㉑令和5年度県教育研究発表会開催日数の変更。以上21項目について説明がありましたが、その中で主なものについてご報告いたします。

④高校の令和6年度学級編制では、福岡工業高校と一戸高校を閉校・統合し、設置学科や定員数は変えずに、両校の校舎を利用する独立校舎型を導入した北桜高校(仮称)を設置する予定となっています。

⑯教職員の綱紀の保持では、昨年度は教職員の懲戒処分の事案が多く、各市町村教委でも「不祥事未然防止の取組」を徹底するよう依頼がありました。(具体的取組…1. 当事者意識の醸成及び職員の状況把握 2. 体罰・暴言の防止 3. 飲酒運転等の未然防止 4. 各所属長による「コンプライアンス宣言」 5. 職員の士気向上に向けた風通しのよい職場づくり 6. 学校における会計事務の適正処理の徹底 7. 情報提供の確実な実施)

㉑今年度の県教育研究発表会は、会場・駐車場確保の関係から2月8日9日の二日間から2月7日～9日の三日間開催に変更する旨、報告がありました。

- 4 意見交換「不登校児童生徒の教育機会の確保について」

意見交換では、初めに学校教育室の千田幸喜生徒指導課長から説明があり、「生徒指導関係事業」では、令和5年度の新規事業として「エリア型カウンセラー並びにエリア型スクー

ルソーシャルワーカー」を新たに配置し、共に教育事務所勤務が可能になることから、打ち合わせや会議などに出席することができ、これまで以上に連携が可能な体制となったことや、「本県の不登校児童生徒の教育機会の確保」については、不登校対策の一つとして「教育支援センター」設置の補助や職員の報酬・交通費、消耗品費・図書購入費等の「教育支援体制整備事業補助金」を新設したことなどの説明がありました。その後の意見交換では、「不登校対応に地域おこし協力隊を活用した事例」や「富谷市の不登校特例校の実践例」などの報告があったほか、いじめの重大事態の際のスクールロイヤー配置要望など、生徒指導に関わって色々と意見交換することができました。

5 所感

会議冒頭の佐藤一男新教育長の挨拶では、「ICT を活用した学びの推進」「いわての復興教育」「いじめ対策、不登校への支援」「働き方改革の推進」「服務規律の確立」の5点について話があり、「働き方改革」については、働き方改革プランを未策定の町村教委(8町村)は早期に策定し主体的な取組を推進してほしいとのことでした。県教委ではこの取組状況を公式HPで公開しているけれども、これは文科省通知(R5.2.3)「働き方改革に係る取組状況の公表等について」の「保護者や地域住民等の理解・協力を得るためにも、HP等における取組状況の原則公表」に則ったものとのことでした。また、「服務規律の確立」では、前述した「**具体的取組**」について、校長会議等で再度徹底を呼び掛ける必要があると感じた次第です。

今回も意見交換の後には、県教委・市町村教育長との懇親会が開催され、貴重な情報交換の機会となりました。

【第1回北上市校長代表者会議】

1 日 時 令和5年5月16日(火) 15:00～

2 場 所 本庁舎5階「第1会議室」

3 出席者

<市校長会>会長：高橋亨校長(上野中)、副会長：林一広校長(鬼柳小)、
事務局長：藤田浩人(黒東小)、研修：加藤建一校長(南小)、三浦秀行校長(飯豊小)、
会計：八重樫満校長(飯豊中) 計6名

<市教委>平野憲教育長、澤藤樹史教育部長、石川貴洋総務課長、平賀英和学校教育課長、
太田代真美同課長補佐、中村隆一同課長補佐兼指導係長、児玉康宏生涯学習文化課長、齊藤大スポーツ推進課長補佐 計8名

4 内容及び所感

この校長代表者会議は年2回開催しており、第1回目は、市校長会から提案された意見・要望等について市教委が回答しながら、学校現場で抱えている様々な課題について協議し、より良い教育環境の実現に向けた情報交換の場となっております。

さて、今回市校長会から出された意見・要望等は、①施設設備・危機管理等については、「学校開放」「エアコン設置」「休日の緊急連絡」、②教育課程・教育活動等については、「部活動の地域移行」「PCのスペック」、③その他については、「支援員及びSSWの派遣」「コミュニティ・スクールの活動の方向性」と、のべ6項目にわたり意見・要望等が出され、限られた時間ではありましたが、一つ一つ丁寧に回答しながら意見交換いたしました。

その中からいくつかご紹介しますと、「学校開放」の予約申請のWEB化については、令和6年度中の運用開始を目指して進めます。「エアコン設置」の特別教室へのエアコン設置については、新設や長寿命化工事で設置する学校以外は、音楽室への設置を令和6年度から稼働できるよう進めます。「部活動の地域移行」については、今年度は個人競技を中心に学校や関係団体の意向を確認しながら、可能な範囲で地域移行を進めます。「支援員」については、今年度は50人任用しており、1200時間タイプが12名、800時間タイプが38名となっています。今後も配偶者扶養手当の要件や希望などを配慮しながら、学校の要望に沿うよう予算化して雇用していきます。「コミュニティ・スクール」の講師への謝金や交通費については、地域づくり組織への活動費補助金や総合交付金などを有効に活用していただきたい。等々回答しております。

この他にも、貴重な意見・要望等が寄せられ、それらに対する回答と共に様々意見交換がなされ、有意義な会議となりました。市内の児童生徒が、安全安心な学習環境で学校生活を送ることができるよう、そして教職員も快適な環境で校務にあたることができるよう、今後も提起された意見・要望等について、可能な限り対応していく所存です。

なお、第2回目は10月6日(金)に、教育委員の皆さんと市校長会代表者との情報交換会を予定しております。

以上で事務報告を終わります。